

京都九条病院 年 報

2012 年度（平成 24 年度）

医療法人同仁会（社団）
京都九条病院

ご 挨拶

平素は京都九条病院の診療に深いご理解とご支援を賜り誠にありがとうございます。

本年は世界各地で大きな自然災害が多発し、地球温暖化の影響が大きく懸念されています。このような自然環境の変化が疾病の変化にも影響を及ぼしているようにも思えてきました。

さて、各企業が一年間の業績を多角的に発表し、職員に向けて報告することは、職員にとっては自らの所属する企業の実態を客観的に観察するという事で意味深い事と考えます。さらに、これらの情報を社会に対し発信することは、その企業に興味のある者にとってはその企業の中身を知る上で重要です。医療界においては、その病院の実績を知ることが、日常の診療において大変役立つ情報となります。特に、病診・病々連携が重要視されている昨今、その役割は大きいと言えます。

当院では昨年より「京都九条病院年報」を発刊しました。今回は2号目であり、まだまだ十分に当院の実態が理解していただけるところまでは及んでいないと思いますが、昨年に比べ各科の統計をより詳細なものに充実させ、診断群分類上位一覧などを追加しました。毎年、必要な情報を増やして、より当院の事を理解していただけるものにしていくように努力していく所存であります。

話は変わりますが、2014年より1月より「大腸カプセル内視鏡」が保険適用になります。当院では2008年より消化器内科の光藤部長を中心に「小腸カプセル内視鏡」に積極的に取り組んでまいりました。これまで、胃カメラや大腸カメラで診断のつかなかった小腸病変を「小腸カプセル内視鏡」で数多く発見し治療しています。当院では京都府立医科大学の6つの関連施設からのデータも当院に集め光藤部長が診断をするネットワークを持っています。また、日本カプセル内視鏡学会指導施設でもあります。その様な経緯を踏まえ、本邦1号の大腸カプセル内視鏡を11月6日に導入いたしました。今や大腸がんは日本女性のがん死亡率の第1位であり、男女を問わず生涯がん罹患率の第1位です。その大きな原因には大腸内視鏡がいろんな意味で受けたくない検査であったからと考えられています。それに変わる「大腸カプセル内視鏡」は大腸がんをはじめとする大腸疾患の診断に大きく寄与すると期待されています。1月から「大腸カプセル内視鏡」を受けていただけるよう準備をいたしております。来年の「年報」にはその結果も追加できると思います。今後も、当院に対しますご理解と支援を宜しくお願い申し上げます。

末筆ではありますが、皆様方の益々のご健勝とご発展をお祈り申し上げます。

平成 25 年 11 月 15 日

京都九条病院

院 長 山 木 垂 水

年 報

● ● ● 目 次 ● ● ●

統 計 (2012年4月～2013年3月)

医事統計指標	3
患者数・救急数・平均在院日数	4
診療圏分布	5
生理検査件数	6
臨床検査件数	7
臨床工学検査件数	8
放射線科検査件数	9
科別手術件数	10
内視鏡検査件数	11
リハビリテーション部	
1. リハビリテーション実施成績	12
2. 依頼診療科分布	13
3. 訪問リハビリテーション実施成績	13
薬剤部	14
分類別抗菌薬使用密度	15
診断群分類上位一覧	16

業 績 集

2012年1月1日～2013年3月31日	19
----------------------	----

統 計

2012年4月～2013年3月
(平成24年4月～平成25年3月)

医事統計指標

	2010 年度	2011 年度	2012 年度
病床数	207 床	207 床	207 床

	2010 年度	2011 年度	2012 年度
延べ外来患者数	67,261	71,826	78,818

	2010 年度	2011 年度	2012 年度
延べ入院患者数	66,453	68,214	68,311

	2010 年度	2011 年度	2012 年度
新入院患者数	2,774	3,065	3,296

	2010 年度	2011 年度	2012 年度
退院患者数	2,754	3,083	3,279

	2010 年度	2011 年度	2012 年度
平均在院日数	19.1	17.7	16.8

	2010 年度	2011 年度	2012 年度
病床利用率	88.0%	90.0%	90.4%

	2010 年度	2011 年度	2012 年度
死亡退院患者数	210	238	184
退院患者数	2,754	3,083	3,279
死亡退院患者率	7.6%	7.7%	5.6%

	2010 年度	2011 年度	2012 年度
救急搬入件数	2,012	1,707	1,572
救急搬入入院件数	907	950	873
救急搬入入院率	45.1%	55.7%	55.5%

	2010 年度	2011 年度	2012 年度
職員健康診断受診率	100%	100%	100%
職員インフルエンザ予防接種受診率	92.2%	93.2%	93.9%

患者数・救急数・平均在院日数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成24年度													
外来患者数	5,927	6,476	6,491	6,724	6,685	6,292	6,954	6,623	6,601	6,921	6,309	6,815	78,818
新患者数	966	986	920	994	936	904	978	994	1,053	1,206	1,024	1,040	12,001
入院患者数	5,244	5,688	5,490	5,764	5,709	5,573	5,699	5,446	5,983	6,145	5,554	6,016	68,311
入院数	268	284	271	294	286	256	264	256	282	284	259	292	3,296
退院数	275	256	290	284	289	257	266	240	303	252	270	297	3,279
救急搬入件数	119	142	129	159	130	114	124	130	154	130	127	114	1,572
救急入院件数	66	91	68	85	70	53	66	68	97	82	59	68	873
平均在院日数	15.6	16.9	16.2	16.4	15.8	17.6	17.2	16.9	16.2	17.7	17.5	17.1	16.8

診療圏分布

外来

	件数	比率 (%)
南 区	9,864	69.75%
左 京 区	135	0.95%
右 京 区	534	3.78%
北 区	117	0.83%
東 山 区	130	0.92%
上 京 区	83	0.59%
中 京 区	218	1.54%
西 京 区	459	3.25%
下 京 区	445	3.15%
伏 見 区	702	4.96%
山 科 区	112	0.79%
京都市内の占める件数と割合 12,799 件 90.50%		
向 日 市	215	1.52%
長 岡 京 市	100	0.71%
宇 治 市	122	0.86%
亀 岡 市	119	0.84%
城 陽 市	46	0.33%
大 山 崎 町	20	0.14%
そ の 他 の 府 内	160	1.13%
京都市府内の占める件数と割合 13,581 件 96.03%		
滋 賀 県	169	1.20%
大 阪 府	169	1.20%
兵 庫 県	50	0.35%
奈 良 県	28	0.20%
愛 知 県	14	0.10%
そ の 他 の 府 県	87	0.62%
不 明	44	0.31%
	14,142	100.00%

入院

	件数	比率 (%)
南 区	1,988	60.32%
左 京 区	64	1.94%
右 京 区	195	5.92%
北 区	55	1.67%
東 山 区	39	1.18%
上 京 区	49	1.49%
中 京 区	112	3.40%
西 京 区	85	2.58%
下 京 区	168	5.10%
伏 見 区	172	5.22%
山 科 区	35	1.06%
京都市内の占める件数と割合 2,962 件 89.87%		
向 日 市	45	1.37%
長 岡 京 市	42	1.27%
宇 治 市	24	0.73%
亀 岡 市	59	1.79%
城 陽 市	9	0.27%
大 山 崎 町	5	0.15%
そ の 他 の 府 内	55	1.67%
京都市府内の占める件数と割合 3,201 件 97.12%		
滋 賀 県	26	0.79%
大 阪 府	35	1.06%
兵 庫 県	14	0.42%
奈 良 県	4	0.12%
東 京 都	8	0.24%
そ の 他 の 府 県	5	0.15%
不 明	3	0.09%
	3,296	100.00%

平成 24 年度生理検査件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	件数	
超音波	腹部(甲状腺・乳腺含む)	133	153	165	180	155	173	176	139	119	130	152	164	1,839
	心臓	115	134	119	112	131	118	130	121	131	149	128	138	1,526
	血管(頸部・上下肢)	129	135	146	135	112	129	167	153	155	177	147	161	1,746
心電図	425	441	384	443	424	381	425	364	378	445	413	455	4,978	
ホルター心電図	17	14	11	20	16	11	20	10	17	18	20	12	186	
トレットミル	0	2	2	2	1	3	3	0	3	1	1	2	20	
肺機能(ドック・検診含む)	3	32	15	40	35	59	46	30	17	12	16	13	318	
脳波	16	18	10	11	9	11	10	13	19	14	11	13	155	
誘発電位・神経伝導速度	11	6	4	6	6	1	4	8	2	4	2	2	56	
血圧脈波	49	18	20	29	17	24	23	27	24	29	29	46	335	
重心動揺	0	31	3	0	0	1	4	4	0	3	1	5	52	
眼底カメラ(ドック・検診)	3	33	35	44	41	59	40	32	18	11	22	18	356	
総件数	901	1,017	914	1,022	947	970	1,048	901	883	993	942	1,029	11,567	

平成 24 年度 臨床検査件数

項 目 名	2012 年度
	依 頼 数
生化学的検査	24,659
血液学的検査	24,864
免疫学的検査	20,691
一般検査	4,911
腫瘍関連検査	2,409
肝炎検査	2,513
病理学的検査（細胞診）	188
ウイルス感染症	990
微生物学的検査	1,797
内分泌学的検査	1,429
アレルギー検査	40
輸血検査	1,357
染色体・細胞性免疫検査	6
薬物検査	263
病理学的検査（組織）	774

項 目 名	2012 年度
	依 頼 数
尿沈渣	4,047
HCV 抗体	2,432
HBs 抗原	2,437
HBs 抗体	13
RPR	2,202
TPHA	2,092
RA	135
インフルエンザ	
クロスマッチ	354
トロポニン T	151
ノロウイルス	1
ラピチェック	64
血液ガス	171
アンモニア	153
CEA	1,849
CA19-9	1,696
薬剤感受性	1,549
HIV	1,066
TSH	498

平成 24 年度臨床工学検査

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ペースメーカー植え込み	1	0	1	3	2	0	4	0	0	0	0	0	11
ペースメーカー電池交換	1	0	0	1	1	1	1	0	0	0	1	2	8
体外式ペースメーカー	2	0	2	1	0	0	1	0	0	1	0	0	7
ペースメーカー外来	39	48	40	41	46	45	42	39	42	50	39	46	517
血液透析	32	41	54	35	53	44	43	45	66	46	44	49	552
持続緩徐式血液濾過	0	0	0	0	0	0	9	0	2	2	3	0	16
腹水濾過濃縮再静注	1	3	4	2	3	2	2	2	3	5	2	2	31
血液成分除去療法	0	6	7	1	0	0	0	0	0	0	0	0	14
血漿交換療法	8	3	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0	15
自己血回収輸血	7	7	8	2	8	9	11	12	5	7	8	11	95
I A B P	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
経皮の心肺補助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

平成 24 年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
CAG	19	13	17	10	17	12	6	2	16	8	16	6	142
PTCA	1	1	1	0	3	0	1	1	1	2	1	1	13
STENT	12	6	3	5	8	7	7	2	4	5	4	10	73
PTA	0	0	0	2	0	1	1	1	3	1	2	6	17
脳アンギオ	5	13	6	2	5	8	12	6	3	9	7	9	85
腹部アンギオ	1	2	2	1	2	1	1	3	2	2	2	1	20
腹腔鏡下手術	11	7	18	12	20	17	20	15	12	14	18	18	182
人工呼吸器稼働	19	18	32	15	33	23	47	7	9	63	33	53	352

平成 24 年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来透析	349	389	397	403	411	376	420	428	414	438	383	428	4,836

平成 24 年度放射線科検査件数

一般撮影

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
頭頸部	49	35	48	40	37	49	54	43	33	33	29	55	505
椎体	82	109	87	78	78	85	102	149	99	105	98	103	1,175
胸腹部	609	685	662	543	648	541	588	606	641	685	601	708	7,517
胸腹部（ポータブル）	110	166	156	106	129	130	180	142	161	209	159	158	1,806
体幹部	145	83	155	141	158	123	159	160	180	208	173	159	1,844
四肢	375	364	367	380	366	373	391	484	382	340	349	379	4,550
四肢（ポータブル）	29	31	32	26	28	24	29	30	22	28	27	28	334
骨密度測定	6	16	11	10	14	8	7	7	5	4	12	9	109
乳房撮影	21	23	60	81	32	52	80	36	33	35	37	72	562
計	1,426	1,512	1,578	1,405	1,490	1,385	1,590	1,657	1,556	1,647	1,485	1,671	18,402

CT

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
頭頸部	214	208	227	247	214	206	250	224	239	248	245	290	2,812
胸部	73	89	71	80	68	64	81	90	102	103	71	93	985
腹部	109	125	152	144	139	128	143	138	119	136	134	152	1,619
胸腹部	99	105	93	104	98	112	120	101	99	136	112	112	1,291
四肢	3	3	4	3	6	6	2	2	3	5	6	3	46
冠動脈	25	17	18	21	16	23	22	17	14	22	14	25	234
ファットスキャン	2	0	2	2	0	1	2	1	0	0	0	2	12
計	525	547	567	601	541	540	620	573	576	650	582	677	6,999

MRI

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
頭頸部	145	162	151	162	155	127	145	133	147	139	152	165	1,783
頸椎	18	15	16	24	20	22	19	18	14	15	8	26	215
胸腰椎	35	49	47	39	63	46	51	39	41	35	38	26	509
胸腹部	11	25	15	23	21	21	17	24	17	17	12	22	225
骨盤部	13	4	7	8	10	14	14	8	10	7	12	10	117
体幹部	19	14	26	23	19	25	28	22	29	23	23	31	282
四肢	46	54	77	63	48	36	64	42	39	45	52	54	620
計	287	323	339	342	336	291	338	286	297	281	297	334	3,751

TV

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
胃透視	13	15	33	28	17	32	28	18	18	15	16	7	240
注腸	6	9	7	6	13	6	7	3	7	12	12	12	100
その他造影	7	19	16	12	14	7	11	11	17	27	26	22	189
非造影		2		1	1	6	7	1			2	2	22
整形	1	2		2	1	1	8	3	1	2	3	3	27
トモシンセシス				1	3			2		3	3	4	16
嚥下造影			1	2	3	1	3	2	3	1	2	1	19
計	27	47	57	52	52	53	64	40	46	60	64	51	613

平成24年度 科別手術件数

月	外科	整形外科	脳外科	循環器科・その他	月間合計	心カテ	腹部 アングイオ	脳 アングイオ	月間合計
4	手術件数 (臨時数) 18 (3)	38	4	5 (1)	65 (4)	28 (5)	1	4	33 (5)
5	手術件数 (臨時数) 18 (4)	42 (1)	8 (2)	0	68 (7)	20 (2)	1	11 (2)	32 (4)
6	手術件数 (臨時数) 28 (8)	37	10 (3)	6 (3)	81 (14)	19 (1)	1	4	24 (1)
7	手術件数 (臨時数) 19 (5)	35	7 (3)	6 (1)	67 (9)	14 (1)	1	2	17 (2)
8	手術件数 (臨時数) 33 (6)	35	7 (2)	5	80 (8)	25	2	2	29
9	手術件数 (臨時数) 21 (7)	37	3 (1)	4	65 (8)	20 (3)	1	7 (1)	28 (5)
10	手術件数 (臨時数) 28 (5)	40	10 (3)	8	86 (8)	22 (1)	1	8 (1)	31 (2)
11	手術件数 (臨時数) 20 (4)	33 (1)	4 (2)	1	58 (7)	6 (1)	2	4	12 (1)
12	手術件数 (臨時数) 18 (6)	32	7 (3)	1 (1)	58 (10)	24 (3)	2	2	28 (3)
1	手術件数 (臨時数) 20 (3)	37	6 (5)	1	64 (8)	17 (4)	1	7 (2)	25 (6)
2	手術件数 (臨時数) 28 (8)	26	10 (6)	1	65 (14)	25 (3)	2	5 (1)	32 (4)
3	手術件数 (臨時数) 25 (2)	39	14 (5)	8 (3)	86 (10)	23 (3)	0	8 (2)	31 (5)
科別合計	手術件数 (臨時数) 276 (61)	431 (2)	90 (29)	46 (9)	743 (107)	241 (27)	15	64 (9)	322 (38)

総合計	1,065 (145)
------------	--------------------

平成 24 年度 内視鏡検査件数 (企業健診・ドックを含む)

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
上部関係	胃カメラ	一般	146	129	150	147	134	133	149	134	132	146	149	171	1,720	
		健診	123	136	123	113	109	130	122	123	66	88	90	66	1,289	
	通常検査合計			269	265	273	260	243	263	271	257	198	234	239	237	3,009
	止血術			9	3	13	7	9	2	1	0	4	3	2	1	54
	EMR			0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	3
	異物除去術			0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	4
	超音波内視鏡			0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	内視鏡的上部イレウス管挿入			0	1	2	0	2	0	1	3	1	3	3	1	17
	食道・吻合部拡張術			0	0	0	0	5	1	4	1	0	3	1	1	16
	食道ステント留置術			0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	十二指腸ステント留置			0	2	0	0	0	0	3	0	0	0	0	2	7
	EVL			2	0	1	1	2	0	0	0	3	3	2	0	14
	E I S L			1	1	0	2	2	0	0	1	3	2	5	0	17
	A P C (食道)			2	4	1	0	1	1	0	0	0	2	2	2	15
	E S D		食道	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	4
	E S D		胃	3	1	3	0	3	1	1	2	2	2	2	4	24
			十二指腸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	E S D (上部)			4	1	3	0	3	2	1	3	2	2	4	4	29
	処置合計			18	14	21	10	25	7	10	9	13	20	20	12	179
	胃ろう造設術		経鼻	1	0	1	2	0	3	4	1	1	0	3	3	19
胃ろう交換術		経鼻	12	8	4	9	5	7	10	10	6	6	5	8	90	
胃ろう関係合計			13	8	5	11	5	10	14	11	7	6	8	11	109	
上部内視鏡総合計			300	287	299	281	273	280	295	277	218	260	267	260	3,297	
下部関係	通常検査			65	74	84	71	62	63	81	66	59	54	62	81	822
	EMR			8	6	16	7	10	14	14	7	18	14	16	9	139
	止血術			1	0	2	0	0	3	2	0	1	3	1	0	13
	異物除去術			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	拡張術			1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	イレウス管挿入			0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	3	1	8
	ステント留置術			0	0	0	0	0	2	1	0	1	3	1	3	11
	A P C			0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	E S D			7	3	3	3	4	1	5	3	3	1	1	0	34
	処置合計			17	9	22	10	14	20	22	10	24	25	22	13	208
	下部内視鏡総合計			82	83	106	81	76	83	103	76	83	79	84	94	1,030
胆・膵関係	通常検査			1	3	2	2	1	1	2	0	2	1	3	2	20
	E S T			0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	3
	E S T + E M L			2	1	4	2	1	0	2	2	0	3	1	4	22
	E M L			0	2	0	0	0	0	2	1	1	1	0	3	10
	E N G B D			0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	E N B D			0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	E R B D			1	5	5	3	1	2	3	2	4	6	5	6	43
	E R G B D			0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2
	E M S			1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	3	1	7
	E P B D + E M L			0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	処置合計			4	9	11	6	4	2	7	5	5	12	10	15	90
	胆・膵系内視鏡総合計			5	12	13	8	5	3	9	5	7	13	13	17	110
小腸関係	D B E (処置を含む)			3	0	0	2	2	1	2	0	2	3	5	2	22
	CE 読影依頼			10	5	3	15	4	5	5	7	7	11	7	6	85
内視鏡総合計 (当院施行分)				392	383	420	378	362	371	414	363	314	359	372	376	4,504

平成 24 年度 リハビリテーション部

1. リハビリテーション実施成績

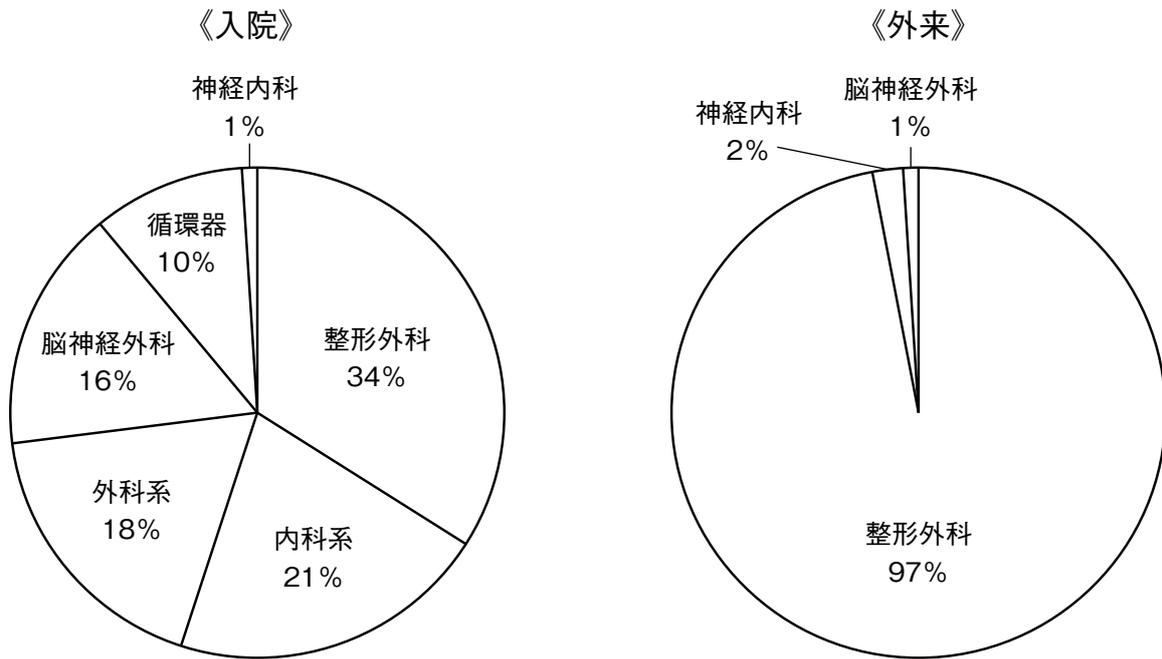
《入院》

	脳血管疾患等		脳血管 ：廃用	運動器 (I)		運動器 (II)	呼吸器 (I)		早期加算		A D L 加算	総合 実施 計画書	退院時 指導	退院前 訪問指 導	合計
	健保	労災		健保	労災		健保	労災	～14日	15日～					
P T 単位数	10,537	117	16,646	19,858	475	1,866	0	0	16,058	12,981	590				49,499
O T 単位数	5,202	69	509	2,342	207	97	0	0	2,165	2,077	276				8,426
S T 単位数	5,005	61	4,840						2,244	2,359	0				9,906
合計単位数	20,744	247	21,995	22,200	682	1,963	0	0	20,467	17,417	866	2,615	718	15	67,831

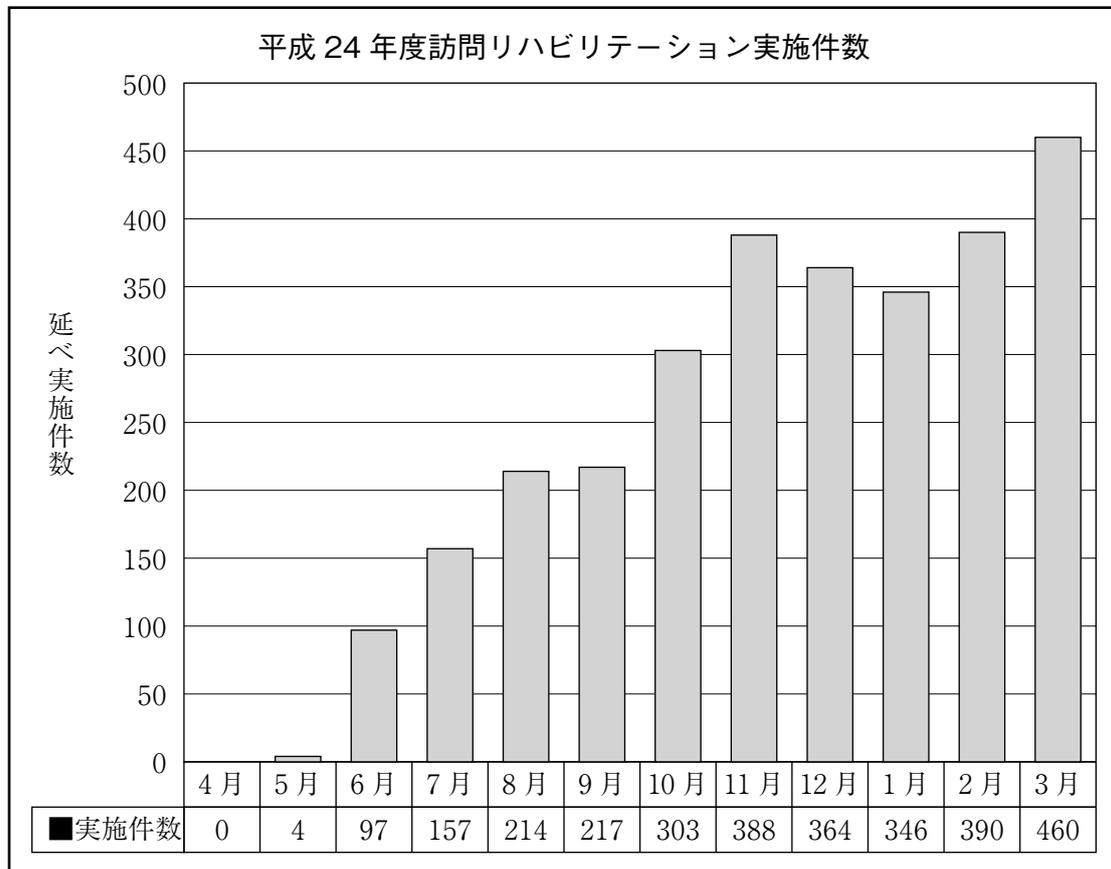
《外来》

	脳血管疾患等		脳血管 ：廃用	運動器 (II)		呼吸器 (I)		総合 実施 計画書	合計	総合計
	健保	労災		健保	労災	健保	労災			
P T 単位数	226	7	187	6,404	130	0	0		6,954	56,453
O T 単位数	153	12	44	4,414	406	0	0		5,029	13,455
S T 単位数	51	0	33						84	9,990
合計単位数	430	19	264	10,818	536	0	0	1,529	12,067	79,898

2. 依頼診療科分布



3. 訪問リハビリテーション実施実績



平成24年度 薬剤部

処方箋枚数

	年間合計	月平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
外来調剤	445	37.1	27	30	12	26	31	36	28	28	27	74	73	53
1日平均	1.2	—	0.9	1.0	0.4	0.8	1.0	1.2	0.9	0.9	0.9	2.4	2.6	1.7
入院調剤	42,824	3,568.7	3,186	3,474	3,391	3,395	3,181	3,306	3,372	3,519	3,495	5,737	3,086	3,682
1日平均	117.0	—	106.2	112.1	113.0	109.5	102.6	110.2	108.8	117.3	112.7	185.1	110.2	118.8
入院注射	80,510	6,709.2	5,694	6,697	7,884	6,798	6,704	5,436	6,262	5,996	6,422	8,643	6,586	7,388
1日平均	220.0	—	189.8	216.0	262.8	219.3	216.3	181.2	202.0	199.9	207.2	278.8	235.2	238.3

薬剤管理指導料

	年間合計	月平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
算定数	3,007	250.6	241	240	278	250	275	257	252	239	250	232	249	244
内、ハイリスク薬管理	1,505	125.4	125	121	136	119	142	127	133	103	126	115	119	139
退院時薬剤情報管理指導料	2,041	170.1	150	160	194	159	181	166	163	159	190	160	183	176

無菌製剤処理科

	年間合計	月平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1. 悪性腫瘍用剤	433	36.1	27	30	40	35	35	34	43	45	35	42	33	34
内、外来	326	27.2	22	26	27	26	21	23	23	31	28	37	29	33
2. 高カロリー輸液等	868	72.3	61	77	102	81	81	37	103	90	51	79	25	81

入院時持参薬

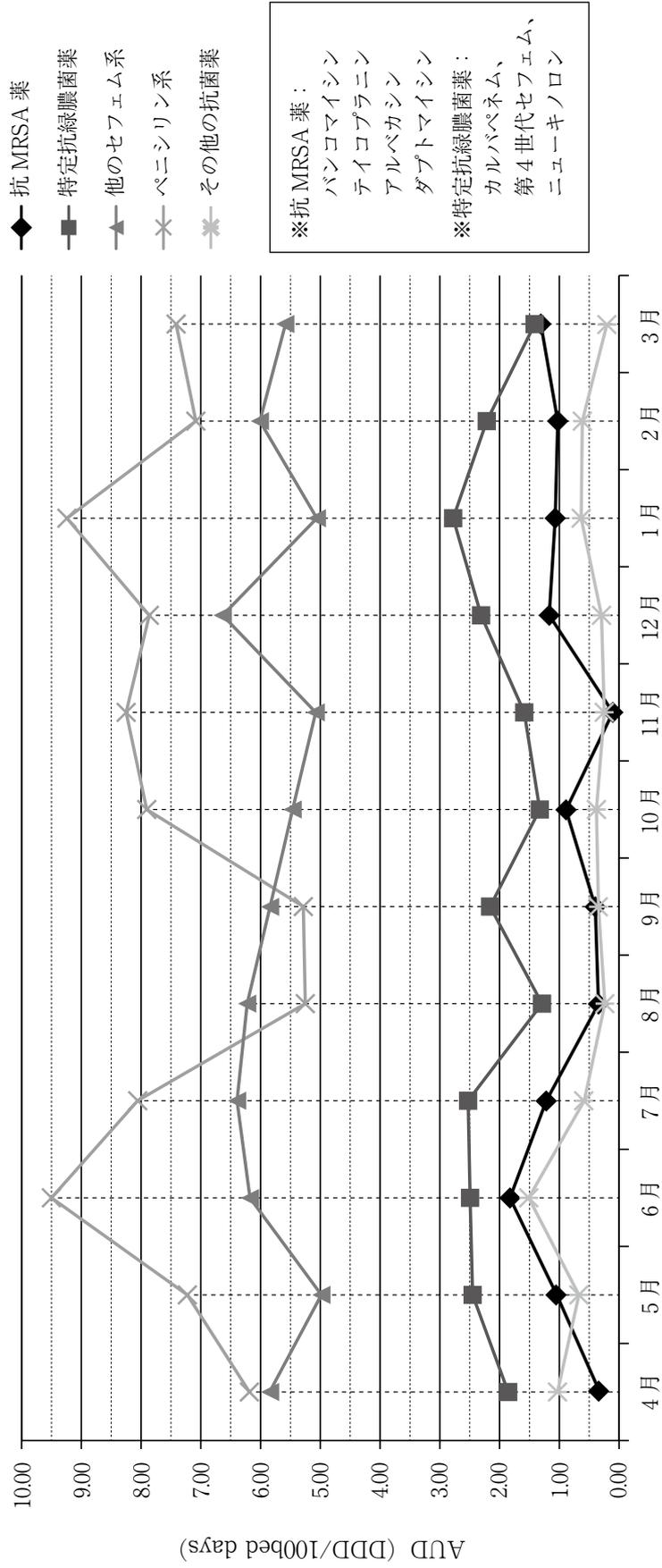
	年間合計	月平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
鑑別・情報提供件数	1,912	159.3	150	164	153	158	172	135	145	148	176	171	165	175
1日平均	5.2	—	5.0	5.3	5.1	5.1	5.5	4.5	4.7	4.9	5.7	5.5	5.9	5.6
調剤件数	3,105	258.8	271	239	236	259	256	218	267	223	311	253	259	313
1日平均	8.5	—	9.0	7.7	7.9	8.4	8.3	7.3	8.6	7.4	10.0	8.2	9.3	10.4

特定生物由来製品使用実績

	年間合計	月平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
濃厚赤血球 (RCC)	1,703.0	141.9	154.0	141.0	194.0	124.0	124.0	138.0	134.0	120.0	114.0	182.0	152.0	126.0
内、自己血	338.0	28.2	28.0	40.0	22.0	10.0	24.0	20.0	46.0	56.0	12.0	32.0	24.0	24.0
新鮮凍結血漿 (FFP)	402.5	33.5	206.5	90.0	28.0	22.0	6.0	10.0	4.0	0.0	6.0	6.0	10.0	14.0
内、血漿交換における使用	292.5	24.4	202.5	90.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
濃厚血小板 (PC)	375.0	31.3	40.0	0.0	50.0	20.0	50.0	60.0	50.0	40.0	0.0	25.0	40.0	0.0
アルブミン (ALB)	1,768.3	147.4	175.0	140.0	233.3	42.5	175.0	101.7	124.2	34.2	158.3	281.7	145.8	156.7
FFP/RCC	0.15	—	0.68	0.32	0.14	0.18	0.05	0.07	0.03	0.00	0.05	0.03	0.07	0.11
ALB/RCC	1.0	—	1.1	1.0	1.2	0.3	1.4	0.7	0.9	0.3	1.4	1.5	1.0	1.2

※自己血は200mLを、新鮮凍結血漿は輸血量120mLを、アルブミン製剤は3gを、1単位数として集計。

平成 24 年度月間分類別抗菌薬使用密度 AUD (Antimicrobial use density) の推移



診断群分類上位一覧

	疾患コード	件数	疾患名
1	040080x099x1xx	489	肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎（15歳以上）
2	010060x199x4xx	384	脳梗塞（JCS 30以上）
3	060100xx99xx1x	191	小腸大腸の良性疾患（良性腫瘍を含む。）
4	110310xx99xxxx	160	腎臓または尿路の感染症
5	050050xx9920xx	157	狭心症、慢性虚血性心疾患
6	070230xx99xxxx	157	膝関節症（変形性含む）
7	160100xx99x01x	145	頭蓋・頭蓋内損傷
8	060020xx99x40x	128	胃の悪性腫瘍
9	160800xx99xx1x	125	股関節大腿近位骨折
10	100380xxxxxxxx	121	体液量減少症
11	060035xx99x50x	120	大腸（上行結腸からS状結腸）の悪性腫瘍
12	050130xx9912xx	115	心不全
13	040081xx99x1xx	96	誤嚥性肺炎
14	060340xx99x1xx	93	胆管（肝内外）結石、胆管炎
15	100070xxxxxxxx	90	2型糖尿病（糖尿病性ケトアシドーシスを除く。）
16	150010xxxxx1xx	89	ウイルス性腸炎
17	060130xx9911xx	88	食道、胃、十二指腸、他腸の炎症（その他良性疾患）
18	060335xx99x1xx	78	胆嚢水腫、胆嚢炎等
19	07010xxx99xxxx	76	化膿性関節炎（下肢）
20	010040x199x1xx	70	非外傷性頭蓋内血腫（非外傷性硬膜下血腫以外）
21	060300xx99x1xx	68	肝硬変（胆汁性肝硬変を含む。）
22	160620xx97xxxx	68	肘、膝の外傷（スポーツ障害等を含む。）
23	060210xx9911xx	66	ヘルニアの記載のない腸閉塞
24	060160x099xxxx	58	鼠径ヘルニア（15歳以上）
25	060040xx99x60x	57	直腸肛門（直腸・S状結腸から肛門）の悪性腫瘍
26	180040xxxxx0xx	53	手術・処置等の合併症
27	060050xx99x40x	49	肝・肝内胆管の悪性腫瘍（続発性を含む。）
28	010080xx99x4xx	47	脳脊髄の感染を伴う炎症
29	060140xx99x00x	47	胃十二指腸潰瘍、胃憩室症、幽門狭窄（穿孔を伴わないもの）
30	050210xx9901xx	46	徐脈性不整脈

業 績 集

2012年1月～2013年3月
(平成24年1月～平成25年3月)

2012年1月1日～2013年3月31日

著 書

1. Kusuzaki K, Hosogi S, Ashihara E, Matubara T, Satonaka H, Nakamura T, Mtsumine A, Sudo A, Uchida A, Murata H, Baldini N, Fais S, Marunaka Y: New concept of limb salvage surgery in musculoskeletal sarcomas with acridine orange therapy. In Eric J. Butler (ed) : Sarcoma. Nova Science Publishers, Inc. New York. Chapter VI, pp123-137, 2012.
2. 楠崎克之：骨腫瘍 星野雄一他編：NEW エッセンシャル，整形外科医歯薬出版株式会社，東京，pp198-228，2012.
3. 楠崎克之：第3節，骨肉腫，第2章，がん領域の希少疾患の医療ニーズ 希少疾患／難病の診断・治療と製品開発，(株)技術情報協会，東京，pp656-661，2012.

原 著

1. Shigemori M, Abe T, Aruga T, Ogawa T, Okuda H, Ono J, Onuma T, Katayama Y, Kawai N, Kawamata T, Kohmura E, Sakaki T, Sakamaoto T, Ssaki T, Sano A, Shogai T, Shima K, Sugiura K, Takasato Y, Tokutomi T, Tomita H, Toyoda I, Nagao S, Nakanura H, Park Young-soo, Matsumae M, Miki T, Miyake Y, Murai H, Murakami S, Yamaura A, Yamaki T, Yamada K, Yoshimine T: Guideline for management of severe head injury, 2nd Edition Neurol Med Chir (Tokyo) 52. 1-30, 2012.
2. 光藤章二：カプセル内視鏡診断ネットワーク ー身近に潜む小腸疾患ー，京都消化器医学会会報，28: 59-61，2012.
3. Matsubara T, Kusuzaki K, Matsumine A, Nakamura T, Sudo A: Can a less radical surgery using photodynamic therapy with acridene orange be equal to a wide-margin resection? Clin OPrthop Relat Res published online 25: 2012.
4. 岩瀬 豪，稲岡秀陽，尾木敦子，友澤明德，國仲加世子，高安郁代，中村真紀，北川一智：高齢者における胃瘻による経腸栄養管理前後での機能的自立度評価（FIM）の点数の推移，静脈経腸栄養，27: 83-86，2012.

5. 藤原麻由, 段林圭吾, 南田喜久美: 腱板修復術後患者の入院生活上の不自由さとそれへの対処, 第43回日本看護学会 — 看護総合 —, 2012. 8. 23-24, 静岡.
6. 大澤千恵子, 栗田千世, 南田喜久美: エンゼルケア時における看護師の配慮について — 私立病院の病棟に勤務する看護師を対象として —, 第43回日本看護学会 — 看護総合 —, 2012. 8. 23-24, 静岡.

学会発表

国際学会

1. Hata T: How to HOLD sheathless TRI technique in complex coronary artery lesion? China International Therapeutics 2012.3.15-18 Beijing.

特別講演

1. 榊原毅彦: 「交通事故における重症頭部外傷について」 京都府医師会平成22年度, 自賠責研究会, 2012. 2. 9, 京都.
2. 村上 守: 脳神経外科領域における動脈硬化性病変に対する外科的治療, ATIS セミナー in Kyoto, 2012. 2. 24, 京都.
3. 光藤章二: カプセル内視鏡: 飲むだけ.com — 小腸を視る, 京都消化管検査技師懇談会, 2012. 3. 28, 京都.
4. 佐久間孝雄: 当院における冠動脈評価の実際, 第1回東寺カンファレンス, 2012. 4. 14, 京都.
5. 楠崎克之: 悪性骨軟部腫瘍に対するアクリジンオレンジ治療法の基礎研究と臨床応用, 第45回山形整形外科セミナー, 2012. 5. 30, 山形.
6. 光藤章二: 大腸腫瘍の内視鏡的粘膜下層剥離術 (ESD) — 先進医療から保険診療へ —, 第5回九条カンファレンス, 2012. 5. 19.
7. 北川一智: 大腸癌に対する腹腔鏡下手術の最近 — reduced port surgery と ERAS プロトコール —, 第5回九条カンファレンス, 2012. 5. 19, 京都.

8. 榊原毅彦：虚血性脳血管障害の診断と治療，第3回東寺カンファレンス，2012. 6. 2，京都.
9. 光藤章二：抗血小板療法における消化管マネージメント — 脳神経外科・循環器内科・消化器内科の接点と連携 —，第3回東寺カンファレンス，2012. 6. 2，京都.
10. 光藤章二：カプセル内視鏡診断ネットワーク — これまでの成果と今後の課題 —，第一回京都 CE ネットワークセミナー，2012. 6. 30，京都.
11. 江端一彦：糖尿病性腎症の診断と治療 — 透析予防のためにできること —，第4回東寺カンファレンス，2012. 10. 19，京都.
12. 光藤章二：LDA/NSAID 起因性消化管粘膜傷害 — PPI による Next Management，湖西消化器疾患勉強会，2011. 11. 15，大津.
13. 楠崎克之：アクリジンオレンジによる薬剤耐性克服とその機序について，第4回アクリジンオレンジ治療研究会，2011. 12. 8，京都.

講演

1. 松田淳子：神経系の知識を脳血管障害者の臨床に活かす，第23回京都府理学療法士学会，2013. 1. 27，京都.

シンポジウム

1. 奥田孝太郎，光藤章二，奥田隆史：高齢者における食道静脈瘤硬化療法の有用性と安全性，第88回日本消化器内視鏡学会近畿地方会，2012. 3. 17，大阪.

パネルディスカッション

1. 奥田孝太郎，中山雅臣，梅原繭子，小西知佳，大門由紀子，光藤章二，堀田祐馬，藤野誠司，奥田隆史，小牧稔之，香川恵造：当院における食道静脈瘤治療に対するEISL，第19回日本門脈圧亢進症学会総会，2012. 9. 8，東京.
2. 光藤章二：潜在性消化管出血例におけるカプセル内視鏡の意義 — ネットワーク登録症例の解析 —，第54回日本消化器病学会，2012. 10. 10，神戸.

一般演題

1. 八木なぎさ, 萩野知賀子, 南田喜久美: 外来看護師・訪問看護師がそれぞれに提供を望む情報, 第24回下西集談会, 2012. 3. 3, 京都.
2. 坂東みそめ, 南田喜久美: 脳神経外科緊急手術における患者家族のメンタルケア 第24回下西集談会, 2012. 3. 3, 京都.
3. 掘 真紀, 國永智昭, 春名千秋, 三好咲樹, 野口あさぎ, 國中加世子, 友澤明德: 入院時患者におけるお薬手帳活用状況と退院時指導の実際, 第24回下西集談会, 2012. 3. 3, 京都.
4. 竹岡 亨, 稲岡秀陽: 京都九条病院整形外科分野におけるリハビリテーションの現状と課題, 第24回下西集談会, 2012. 3. 3, 京都.
5. 須知健太郎, 北川一智, 吉岡裕司, 甲原純二, 松井道宣: 当院における単孔式腹腔鏡下手術, 第24回下西集談会, 2012. 3. 3, 京都.
6. 奥田孝太郎, 中山雅臣, 大門由起子, 光藤章二: 進行大腸癌を合併した多発大腸側方発育型腫瘍の1例, 第24回下西集談会, 2012. 3. 3, 京都.
7. 光藤章二, 中山雅臣, 奥田孝太郎, 大門由起子, 水野真紀: カプセル内視鏡(CE)診断ネットワーク — 有用性と将来性 —, 第24回下西集談会, 2012. 3. 3, 京都.
8. 佐久間孝雄, 羽田哲也, 中小路知大: 若年発症の急性大動脈瘤(Stanford A型)の1症例, 第24回下西集談会, 2012. 3. 3, 京都.
9. 中小路知大, 佐久間孝雄, 羽田哲也: 中枢神経症状より診断し得た心臓腫瘍の一例, 第24回下西集談会, 2012. 3. 3, 京都.
10. 岸本博明: 当透析センターにおける特殊血液浄化について, 第24回下西集談会, 2012. 3. 3, 京都.
11. 北川一智, 岩瀬 豪, 中村真紀, 尾木敦子, 友澤明德, 國中加世子, 高安郁代: 高齢者に対する消化管術後の摂食障害に塩酸アマンタジンの投与が有用であった3症例, 第27回日本静脈経腸栄養学会, 2012. 2. 23-24, 神戸.
12. 須知健太郎, 北川一智, 吉岡裕司, 甲原純二, 松井道宣: 大網による絞扼にて、発症した急性胆嚢炎の1例, 第5回京都消化器外科臨床検討会, 2012. 4. 7, 大阪.

13. 村上 守, 榊原毅彦, 平井 誠, 山木垂水, 楠崎克之: 骨膜性脂肪腫の一治験例, 第 63 回日本脳神経外科学会近畿支部学術集会, 2012. 4. 7, 大阪.
14. 海江田武, 竹岡 亨, 稲岡秀陽: 心疾患を有する超高齢大腿切断症例に対する理学療法の一経験 — 病態を踏まえた運動負荷設定に着目して —, 第 47 回日本理学療法学術大会, 2012. 5. 26, 神戸.
15. 川端涼太, 竹岡 亨, 稲岡秀陽: 右股関節全置換術施行後、腰痛増強により歩容改善に難渋した一症例 — 円背姿勢における脊柱アライメントに着目して —, 第 47 回日本理学療法学術大会, 2012. 5. 27, 神戸.
16. 平井 誠, 村上 守, 榊原毅彦, 松井淳琪, 山木垂水, 日野明彦: 2 度の塞栓術後にクリッピング術を行なった破裂前大脳動脈瘤の 1 例, Stroke 2012, 2012. 4. 26-28, 福岡.
17. 岩瀬 豪: 胃瘻管理の現状と新たな P E G 適応について, 第 17 回京滋 N S T 研究会, 2012. 6. 2, 京都.
18. 堀 真紀, 國永智昭, 春名千秋, 三好咲樹, 野口あさぎ, 國仲加世子, 友澤明德: 入院患者におけるお薬手帳活用状況と退院時指導の実際, 第 47 回京都病院学会, 2012. 6. 10, 京都.
19. 友澤明德, 三上豊子: 禁煙補助剤の有用性比較検討, 第 47 回京都病院学会, 2012. 6. 10, 京都.
20. 坂東みそめ: 脳神経外科緊急手術時における患者家族のメンタルケア, 第 47 回京都病院学会, 2012. 6. 10, 京都.
21. 小川貴弘, 仁張貴弘, 橋本絹代, 金子功江, 大西ひかり, 岸本博明, 江端一彦: 当血液透析センターにおける特殊な血液浄化の実際について, 第 47 回京都病院学会, 2012. 6. 10, 京都.
22. 坂東みそめ: 脳神経外科緊急手術における患者・家族のメンタルケア, 第 47 回京都病院学会, 2012. 6. 10, 京都.
23. Hata T : Successful treatment of RCA ostial in-stent restenosis CTO lesion : Antegrade approach, The 13th Seminar of Angioplasty of Chronic Total Occlusion, 2012. 7. 15-16, Nagoya.

24. 伊藤らんな, 小川明里: ウェルニッケ失語・失行・失認を呈した症例について～食事動作に着目して～, 京都府 OT 高次脳機能障害研究会, 2012. 6. 20, 京都.
25. 光藤章二: カプセル内視鏡診断ネットワーク登録症例における低容量アスピリン製剤 (LDA) / NSAID 起因性小腸粘膜傷害の臨床像の解析, 第 5 回日本カプセル内視鏡学会, 2012. 7. 29, 東京.
26. 北川一智, 須知健太郎, 甲原純二, 吉岡裕司, 松井道宣: 市中病院における超高齢者に対する腹腔鏡下結腸切除術の有効性についての検討, 第 67 回日本消化器外科学会総会, 2012. 7. 18-20, 富山.
27. 羽田哲也: IUVS (view it) が抜去困難となった 1 例, Slender Club Japan Meeting in Nebuta 2012, 2012. 8. 4-5, 青森.
28. 藤原麻由, 段林圭吾, 南田喜久美: 腱板修復術後患者の入院生活上の不自由さとそれへの対処, 第 43 回日本看護学会 ―看護総合―, 2012. 8. 23-24, 静岡.
29. 大澤千恵子, 栗田千世, 南田喜久美: エンゼルケア時における看護師の配慮について ― 私立病院の病棟に勤務する看護師を対象として ―, 第 43 回日本看護学会 ―看護総合―, 2012. 8. 23-24, 静岡.
30. 楠崎克之: がん酸性 (Cancer Acidity) とアクリジンオレンジについて, 第 14 回骨軟部腫瘍セミナー, 2012. 8. 25, 郡山.
31. 奥田孝太郎, 中山雅臣, 畠山繭子, 小西知佳, 大門由紀子, 光藤章二, 堀田祐馬, 藤野誠司, 奥田隆史, 小牧稔之, 香川恵造: 食道静脈瘤に対する EIS・EVL 同時併用療法 (EISL) +APC 地固め療法の治療成績, 第 38 回京都医学会, 2012. 9. 30, 京都.
32. 北川一智, 須知健太郎, 甲原純二, 吉岡裕司, 松井淳琪, 松井道宣: 当院における単孔式腹腔鏡下胆嚢摘出術: 第 38 回京都医学会, 2012. 9. 30, 京都.
33. 村上 守, 平井 誠, 榊原毅彦, 山木垂水: 高度石灰化を呈する鎖骨下動脈狭窄に対し経皮的血管形成術を行った血液透析患者の 2 例, 第 38 回京都医学会, 2012. 9. 30, 京都.
34. 門由起子, 稲岡秀陽: 延髄外側梗塞による気管切開後、摂食嚥下獲得に難渋した 1 症例, リハビリテーションケア合同研究大会 札幌 2012, 2012. 10. 12, 札幌.
35. 稲岡秀陽: 地域急性期病院が併設した短期入所生活介護～利用者状況第二報～, リ

- ハビリテーションケア合同研究大会 札幌 2012, 2012. 10. 12, 札幌.
36. 小川明里, 稲岡秀陽: 脳卒中患者の環境因子が在院日数に与える影響, リハビリテーションケア合同研究大会 札幌 2012, 2012. 10. 12, 札幌.
37. 友沢明德, 松岡加世子: 脂肪乳剤による検査値変動について, 第 22 回日本医療薬学会年会, 2012. 10. 27-28, 新潟.
38. 楠崎克之, 丸中良典, 細木誠之: アクルジンオレンジによる多剤耐性骨肉腫細胞株の耐性克服機序の解明, 第 27 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2012. 10. 26-27, 名古屋.
39. 榊原毅彦, 平井 誠, 村上 守, 山木垂水, 頭部外傷データバンク検討委員会: 自転車同士や自損事故における重症頭部外傷の傾向 - 頭部外傷データバンク 2004 のデータをもとに -, 社団法人日本脳神経外科学会 第 71 回学術総会, 2012. 10. 17-19, 大阪.
40. 榊原毅彦, 平井 誠, 村上 守, 松井道宣, 松井淳琪, 北川一智, 山木垂水: 自転車同士や自損事故における重症頭部外傷の傾向, 第 40 回日本救急医学会総会, 2012. 11. 13-15, 京都.
41. 北川一智, 須知健太郎, 吉岡裕司, 甲原純二, 松井淳琪, 山木垂水: Ileosigmoidal knot の 1 手術例, 第 40 回日本救急医学会総会, 2012. 11. 13-15, 京都.
42. 須知健太郎, 北川一智: 腹腔鏡下ヘルニア修復術 (TAPP) の定型化に向けて, 第 7 回関西ヘルニア研究会, 2012. 10. 20, 大阪.
43. 村上 守, 平井 誠, 榊原毅彦, 山木垂水: 左内頸動脈閉塞を合併した左鎖骨下動脈に対し、鎖骨下動脈の経皮的血管形成術を優先した 1 例, 第 28 回日本脳神経血管内治療学会総会, 2012. 11. 15-17, 仙台.
44. 平井 誠, 村上 守, 榊原毅彦, 山木垂水: 内頸動脈閉塞試験が陽性であった内頸動脈海綿静脈洞部の広頸破裂内頸動脈瘤の 1 例, 第 28 回日本脳神経血管内治療学会総会, 2012. 11. 15-17, 仙台.
45. 馬田慎也, 堀金未来江, 稲岡秀陽: リハビリテーション部におけるリスクマネジメントの浸透を目指しての活動報告, 日本プライマリ・ケア連合会 第 26 回近畿地方会, 2012. 11. 25, 京都.
46. 四本忠彦, 楠崎克之, 大槻康雄, 渡邊信佳, 稲岡秀陽, 竹岡 亨, 高安郁代, 山本優子,

- 人見千愛：慢性運動器疾患に対する新たな試み — 運動器リハビリテーション入院 —, 日本プライマリ・ケア連合会 第26回近畿地方会, 2012. 11. 25, 京都.
47. 東 武史, 松田淳子, 稲岡秀陽, 四本忠彦, 渡邊信佳, 大槻康雄, 楠崎克之：整形外科疾患に特化した入院、外来リハビリテーション終了時の新たな支援体制, 日本プライマリ・ケア連合会 第26回近畿地方会, 2012. 11. 25, 京都.
48. 須知健太郎, 北川一智, 吉岡裕司, 甲原純二, 松井淳琪, 仲谷成雄, 荒木友貴：腹腔鏡下臨時手術におけるチーム医療, 日本プライマリ・ケア連合会 第26回近畿地方会, 2012. 11. 25, 京都.
49. 中村祐司：一般病院での脳卒中患者に対するチーム医療, 日本プライマリ・ケア連合会 第26回近畿地方会, 2012. 11. 25, 京都.
50. 安藤良平, 北川一智, 岡本勝博, 尾木敦子, 國永智昭, 徳地正純, 林 甫, 岸田文枝：京都九条病院における消化器癌 ERAS プロトコールの取り組み, 日本プライマリ・ケア連合会 第26回近畿地方会, 2012. 11. 25, 京都.
51. 正岡育代, 高木善史, 石原順也, 松井常孝, 正井尚樹, 並河哲也：下京南薬剤師会と下京区・南区地域包括支援センターの取り組み, 日本プライマリ・ケア連合会 第26回近畿地方会, 2012. 11. 25, 京都.
52. 友沢明德：下京南地域におけるお薬手帳の普及・活用状況について, 日本プライマリ・ケア連合会 第26回近畿地方会, 2012. 11. 25, 京都.
53. 堀 真紀, 國友智昭, 春名千秋, 三好咲樹, 野口あさぎ, 松岡加世子, 友沢明德：入院患者におけるお薬手帳活用状況と退院時指導の実際, 日本プライマリ・ケア連合会 第26回近畿地方会, 2012. 11. 25, 京都.
54. 高安郁代, 北川一智, 徳地正純, 岸田文枝：栄養サポートチームと南口腔サポートセンターの連携による効果的な栄養管理, 日本プライマリ・ケア連合会 第26回近畿地方会, 2012. 11. 25, 京都.
55. 田中晴美, 前蘭輝美, 高木善史, 稲岡秀陽, 山木垂水：京都市唐橋地域包括支援センター介護予防支援事業所利用者の支援継続の秘訣を探る, 日本プライマリ・ケア連合会 第26回近畿地方会, 2012. 11. 25, 京都.
56. 友沢明德, 堀 真紀, 國永智昭, 春名千秋, 三好咲樹, 野口あさぎ, 松岡加世子：

- 在宅介護の実態に合った薬剤選択の重要性と薬剤師参画の必要性を示す事例, 日本プライマリ・ケア連合会 第26回近畿地方会, 2012. 11. 25, 京都.
57. 北野真吾: 緊急医療被ばく初級講座を受講して, 日本プライマリ・ケア連合会 第26回近畿地方会, 2012. 11. 25, 京都.
58. 内田秀行, 上島悦子, 中村康子, 稲岡秀陽, 山木垂水: 退院前の連携が介護サービス計画作成におよぼす影響 ~医療改正による比較~, 日本プライマリ・ケア連合会 第26回近畿地方会, 2012. 11. 25, 京都.
59. 稲岡秀陽: 地域急性期病院が併設した短期入所生活介護 ~利用者状況第三報~, 日本プライマリ・ケア連合会 第26回近畿地方会, 2012. 11. 25, 京都.
60. 西海和成, 三好智和: 京都九条病院 病診・病病連携セミナー, 日本プライマリ・ケア連合会 第26回近畿地方会, 2012. 11. 25, 京都.
61. 稲岡秀陽, 竹岡 亨, 松田淳子: 地域急性期病院のリハビリテーションが果たす役割, 日本プライマリ・ケア連合会 第26回近畿地方会, 2012. 11. 25, 京都.
62. 竹岡 亨, 林 健二, 松田淳子, 稲岡秀陽: 再入院の経験をもつ廃用症候群症例の特徴, 日本プライマリ・ケア連合会 第26回近畿地方会, 2012. 11. 25, 京都.
63. 竹岡 亨, 松田淳子, 林 健二, 稲岡秀陽: 廃用症候群の日常生活機能分析, 日本プライマリ・ケア連合会 第26回近畿地方会, 2012. 11. 25, 京都.
64. 森木紀博, 山田千央, 竹岡 亨, 稲岡秀陽: 急性期~維持期における脳血管疾患患者の動向と比較 ~そこから見えた今後の課題~, 日本プライマリ・ケア連合会 第26回近畿地方会, 2012. 11. 25, 京都.
65. 佐久間孝雄, 羽田哲也, 吉尾拓朗, 山木垂水: ペースメーカー植え込みの際、キアリ綱によるスクリーインリードの変形を来した症例, 日本プライマリ・ケア連合会 第26回近畿地方会, 2012. 11. 25, 京都.
66. 北川一智, 須知健太郎, 甲原純二, 吉岡裕司, 松井道宣: 小腸病変に対する reduced port surgery の工夫, 第25回日本内視鏡外科学会総会, 2012. 12. 6-8, 横浜.
67. 須知健太郎, 北川一智, 甲原純二, 吉岡裕司, 松井道宣: 腹腔鏡下ヘルニア修復術 (TAPP) の定型化にむけて, 第25回日本内視鏡外科学会総会, 2012. 12. 6-8, 横浜.

京都九条病院年報編集委員会

診療情報管理室	課長	佐々木	雅 迅
看護部	副部長	南 田	喜久美
放射線科	係長	橋 本	章
薬剤部	課長	堀	真 紀
リハビリテーション部	課長	松 田	淳 子
医事課	課長	三 好	智 和
事務部	部長	西 海	和 成

京都九条病院 年報

2013年12月 発行

発行者 医療法人同仁会（社団）京都九条病院
〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町10番地
電話 京都075（691）7121
